



名鍍会報告

H23. 5

この度の東日本大震災におきまして、亡くなられた方々のご遺族の皆さまに対しまして、深くお悔みを申し上げますとともに、被害にあわれた皆様に心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

平成23年4月2日(土)、コートヤード・マリOTT銀座東武ホテルで、第50回日本鍍金協会年次大会が行われました。

本来であれば、50周年記念式典も行い4月2日と3日の2日間にかけて家族親睦で開催する予定でしたが、震災により式典が中止となり会員のみでの年次大会と懇親会の開催になりました。

年次大会は、76名(来賓3名、十日会38名、青研会17名、名鍍会18名)が出席し、平成22年度の事業経過報告、収支決算、各会事業経過などが報告された後、各会より報告がありました。

十日会は、計画停電により仕事が出来ない会社があるのと、液状化により自宅が被害を受けている方もおられると報告がありました。

青研会は、今のところ強く影響は出ていないが今後は不明確であると報告がありました。

名鍍会は、トヨタのラインストップの影響で亜鉛めっきの会社を中心に週4日稼働、週3日稼働となり、かなり影響を受けており、リーマンショックの時より酷いのではないかと報告がありました。



各会報告の後、任期満了に伴う役員改正で名鍍会の加藤千博さんが新会長に選出され閉会しました。

続いて、参加者一同で集合写真をとった後、十日会製作の50周年記念映画「未来は歴史の中にある」が上映されました。若手会員の悩み、葛藤、それに対する諸先輩方の体験、アドバイスをふまえて未来に向かって進んでいくというドキュメンタリー映画でした。この中で諸先輩が言っていた「今こそ好機！活路を見出せ！」という言葉がとても印象に残りました。

映画の後の懇親会では、みんな大いに飲んで、語って、楽しんでいました。震災の起こった後なので日本全体が暗くなりがちだけど、元気を出して来年の年次大会は皆が心から楽しめるといいなと思いました。